

お知らせ

2018年8月10日

NTTレゾナント株式会社

goo 天気データのデータで 2018 年 7 月の猛暑を振り返る

今年の夏は東京、大阪、名古屋の最高気温が那覇よりも高いという結果に

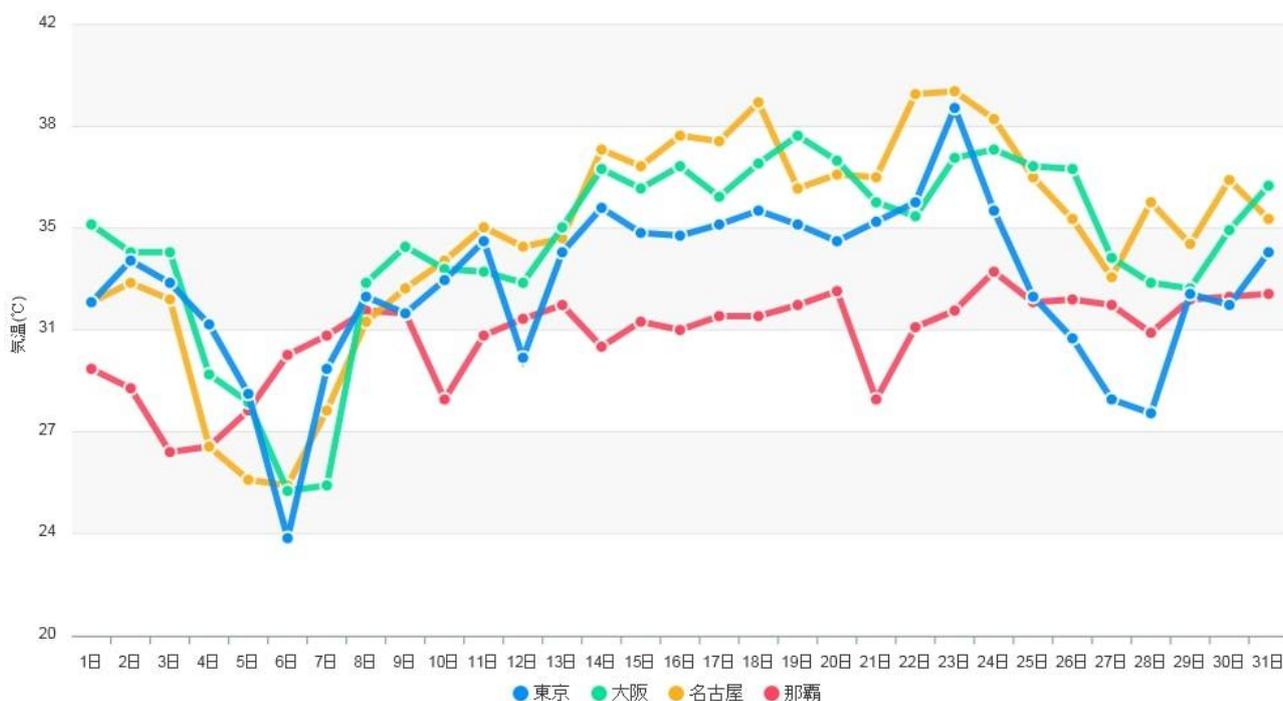
～ 3 大都市は 50 年前より最高気温が 4℃以上上昇していた～

NTTレゾナント株式会社(本社：東京都港区、代表取締役社長：若井 昌宏、以下 NTTレゾナント)が運営する「goo+d ランキング(グッドランキング)」は、「goo」のアクセスログとNTTドコモが運営する「dメニュー」の公開データを用いて、ユーザーの興味関心を分析しています。

今回は、「goo 天気」に掲載している地上気象観測データを元に、2018年7月の最高気温を東京、大阪、名古屋の3大都市と那覇で比較、また1968年の各都市の最高気温による比較も公開。さらに、「dメニュー」の検索ログから、気温上昇によって検索回数が伸びたキーワードを紹介しています。

1. 各都市における 2018 年 7 月の最高気温について

各都市における2018年7月の最高気温



	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日
東京	32.0	33.5	32.7	31.2	28.7	23.5	29.6	32.2	31.6	32.8
大阪	34.8	33.8	33.8	29.4	28.4	25.2	25.4	32.7	34.0	33.2
名古屋	32.1	32.7	32.1	26.8	25.6	25.4	28.1	31.3	32.5	33.5
那覇	29.6	28.9	26.6	26.8	28.1	30.1	30.8	31.7	31.6	28.5
	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日
東京	34.2	30.0	33.8	35.4	34.5	34.4	34.8	35.3	34.8	34.2
大阪	33.1	32.7	34.7	36.8	36.1	36.9	35.8	37.0	38.0	37.1
名古屋	34.7	34.0	34.3	37.5	36.9	38.0	37.8	39.2	36.1	36.6
那覇	30.8	31.4	31.9	30.4	31.3	31.0	31.5	31.5	31.9	32.4
	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日
東京	34.9	35.6	39.0	35.3	32.2	30.7	28.5	28.0	32.3	31.9
大阪	35.6	35.1	37.2	37.5	36.9	36.8	33.6	32.7	32.5	34.6
名古屋	36.5	39.5	39.6	38.6	36.5	35.0	32.9	35.6	34.1	36.4
那覇	28.5	31.1	31.7	33.1	32.0	32.1	31.9	30.9	32.1	32.2
	31日	平均								
東京	33.8	32.6								
大阪	36.2	34.1								
名古屋	35.0	34.4								
那覇	32.3	30.8								

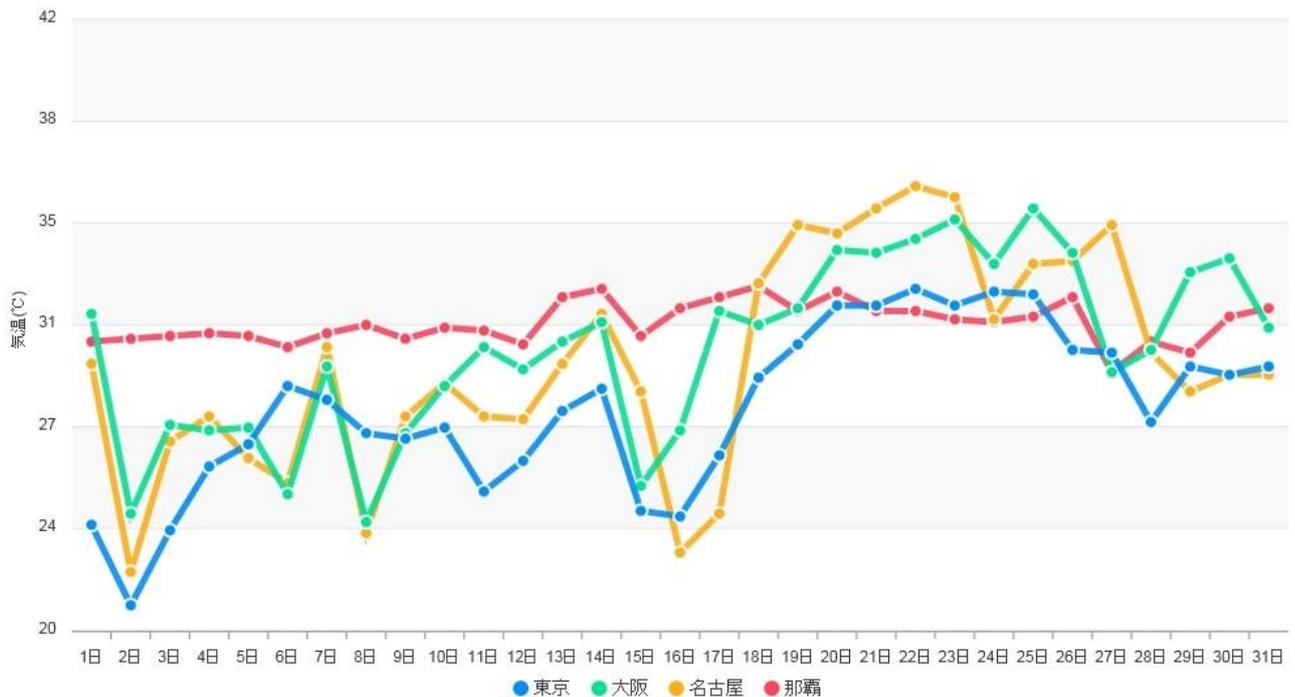
各都市における 2018 年 7 月の最高気温

記録的な猛暑が国内中で記録された 2018 年 7 月。goo 天気に掲載している地上気象観測データでは、特に都市部でその暑さが最高気温から読み取れます。

東京では 5 回、大阪では 14 回、名古屋では 16 回もの猛暑日を記録しました。一方で、那覇では、最高気温が 1 回も 35℃を上回ることはなく、猛暑日となった日はありませんでした。7 月の最高気温の平均を見てみると、東京で 32.6℃、大阪で 34.1℃、名古屋で 34.4℃となっており、いずれも那覇の 30.8℃を超えていました。

2. 各都市における 1968 年 7 月の最高気温について

各都市における1968年7月の最高気温



	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日
東京	23.8	20.9	23.6	25.9	26.7	28.8	28.3	27.1	26.9	27.3
大阪	31.4	24.2	27.4	27.2	27.3	24.9	29.5	23.9	27.1	28.8
名古屋	29.6	22.1	26.8	27.7	26.2	25.3	30.2	23.5	27.7	28.9
那覇	30.4	30.5	30.6	30.7	30.6	30.2	30.7	31.0	30.5	30.9
	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日
東京	25.0	26.1	27.9	28.7	24.3	24.1	26.3	29.1	30.3	31.7
大阪	30.2	29.4	30.4	31.1	25.2	27.2	31.5	31.0	31.6	33.7
名古屋	27.7	27.6	29.6	31.4	28.6	22.8	24.2	32.5	34.6	34.3
那覇	30.8	30.3	32.0	32.3	30.6	31.6	32.0	32.4	31.5	32.2
	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日
東京	31.7	32.3	31.7	32.2	32.1	30.1	30.0	27.5	29.5	29.2
大阪	33.6	34.1	34.8	33.2	35.2	33.6	29.3	30.1	32.9	33.4
名古屋	35.2	36.0	35.6	31.2	33.2	33.3	34.6	30.0	28.6	29.2
那覇	31.5	31.5	31.2	31.1	31.3	32.0	29.3	30.4	30.0	31.3
	31日	平均								
東京	29.5	28.0								
大阪	30.9	30.1								
名古屋	29.2	29.6								
那覇	31.6	31.1								

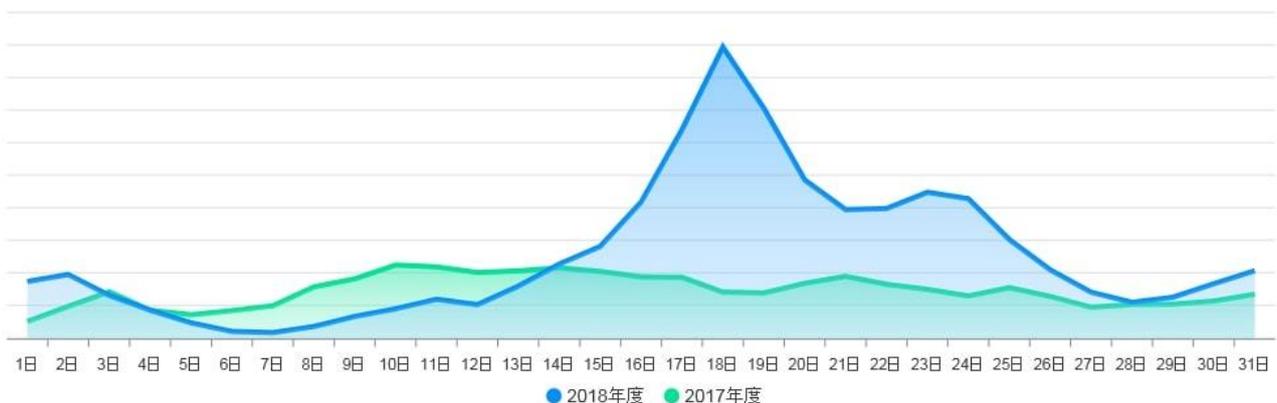
各都市における 1968 年 7 月の最高気温

50年前である1968年7月のデータを見てみると、東京、大阪では1回も猛暑日を記録しておらず、唯一猛暑日を記録している名古屋でも3回のみでした。那覇でも猛暑日を記録した日はありませんが、最高気温の平均では、3大都市を超える31.1℃を記録しています。

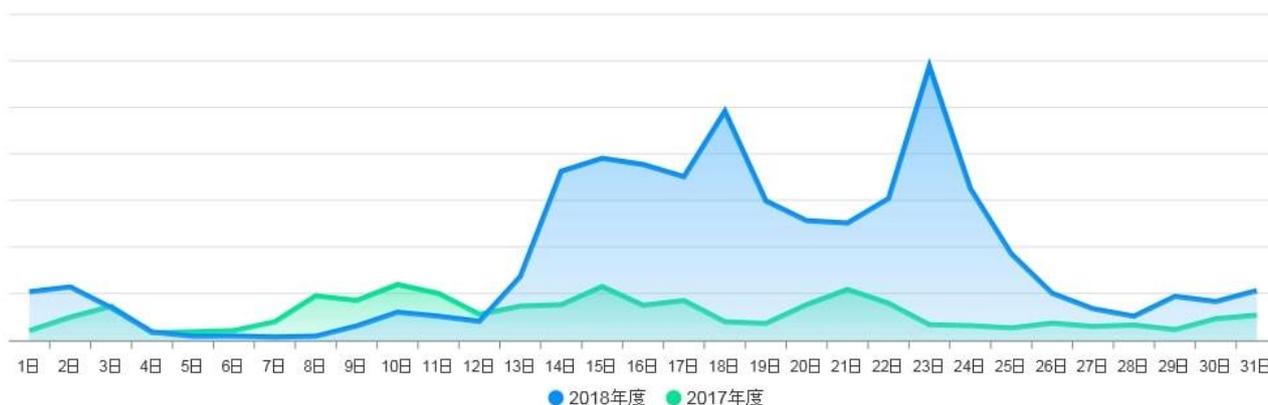
2018年7月と1968年7月のデータを比較してみると、都市部の最高気温が上がっていることがわかります。50年前との7月の最高気温の差は、那覇では31.1℃→30.8℃(-0.3)とほとんど変化がないのに対して、東京では28.0℃→32.6℃(+4.6)、大阪では30.1℃→34.1℃(+4.0)、名古屋では29.6℃→34.4℃(+4.8)と3大都市では4℃以上の上昇がありました。

3. 2017年比で「熱中症」は1.7倍、「最高気温」は3.0倍、「暑さ指数」は9.9倍の検索回数

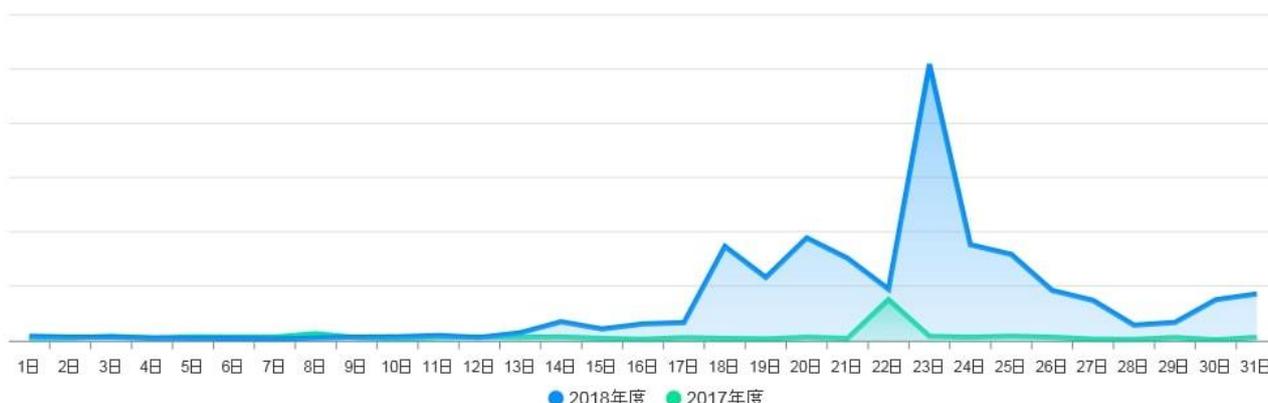
dメニューにおける7月の「熱中症」の検索回数



dメニューにおける7月の「最高気温」の検索回数



dメニューにおける7月の「暑さ指数」の検索回数



「dメニュー」における2018年7月の検索ログを見てみると、2018年は暑さに関するキーワードが大きく検索回数を伸ばしていました。2017年比で、「熱中症」は1.7倍、「最高気温」は3.0倍、「暑さ指数」は9.9倍の検索回数となりました。「熱中症」のピークは18日。同日は、総務省消防庁が、9～15日の1週間に全国で9,956人が熱中症のため搬送されたとの速報値を発表しています。

「最高気温」、「暑さ指数」のピークは23日。23日は国内の最高気温を更新しました。熱中症を予防するために、テレビのニュース番組などで湿度、気温、日差しの強さの3要素で暑さを表す指標である暑さ指数がクローズアップされました。2018年から、暑さ指数の結果をもとに、プールの使用判断をする小学校もあり、検索回数も大きく伸びています。

■ 「goo+d ランキング」について (<https://ranking.goo.ne.jp/good/>)

「goo+d ランキング」は、「膨大なログデータから世の中を見ると、発見、驚き、笑いがみえてくる」を合言葉に、ユニークな切り口でユーザーインサイトを読み解く情報サイトです。「goo」が持っているアクセスログと「dメニュー」の公開データから、コンテンツごとのユーザーの関心を読み解

き、世代や属性別などの新たなトレンドの発見を提供します。「2018年7月の猛暑を振り返る」をテーマにしたコラムも近日公開予定です。

■ 「goo 天気」について (<https://weather.goo.ne.jp>)

「goo 天気」では、各地の天気予報・ピンポイント天気・週間天気・地震情報・台風情報を掲載しています。また、1961年からの日本全国の過去天気データをまとめています。歴代の最高気温や最低気温もランキングで集計しています。

過去の天気はこちらからアクセスできます。

URL : <https://weather.goo.ne.jp/past/>

※記載されている会社名、サービス名および商品名は、各社の登録商標または商標です。

※地上気象観測データは[日本気象協会](#)から提供を受けています

以上

本件に関する問い合わせ先

NTT レゾナント株式会社 広報担当 成田、前西 ☎ 03-6703-6250 pr@nttr.co.jp